



鶴風会フォトコンテスト最優秀作品

「朝日を浴びる富士山を病院屋上から望む」

撮影：総務部 佐藤 朋己



No.22 (平成23年)

社会福祉法人 鶴風会
東京小児療育病院
みどり愛育園
西多摩療育支援センター
後援会
一連絡先
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042(561)2521(代表) 〒208-0011
東京小児療育病院内
Eメール trch@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実な
積極的取り組み障害児者と
その家族を支援します

1頁	リーダーとリーダーシップ
2頁	三十四年目の春だから 日本女医会東京都支部連合会
3頁	東京小児療育病院での研修 感染制御直接指導
4頁	当院における「義肢・装具」療法について
5頁	肢体不自由児施設療育研究会 施設対抗野球大会
6頁	西多摩だより パザー終了報告
7頁	後援会だより オルフエの会 耐震診断計画
8頁	ご寄付者名簿

リーダーとリーダーシップ

会長 五島瑳智子

恋愛相手が必ずしも結婚相手にふさわしいとは限りません。結婚後にそれがわかったとしても被害は関係者のみで済みます。しかしリーダーとリーダーシップは同一人が備えていなければ、被害は周囲に及びます。

二十年前のこと、ある国の高名な経済学者の講演を聴きました。その中で「日本ではリーダーシップの教育がされていない。このままでは優秀なリーダーは育たない」と言われました。外国人から言われてよい気持ちはしなかったのですが、まもなくそれを肯定せざるを得なくなりました。幼稚園から小中学校、さらには高校になるまで、何でも平等にして、突出しない工夫ばかりしている学校があり方か、またそれを望む家庭が多いのか、勿論そればかりではないでしょうが、たしかにリーダーシップを育てる教育は欠けているように思うのです。

世の中には多くのリーダーが存在しま

す。問題はそういう人達が必要不可欠なリーダーシップ(指導者としての資質、能力、力量、統率力)を備えているかという事なのです。リーダーの地位にいたからといって、リーダーシップは一朝一夕の一夜漬けで身につくものではありません。

まして国家ともなればそのリーダーシップは辞書にある資質だけでは足りません。広く深い知識に根ざした世界観、未来を見透す目によって国の進む方向を見定め、常に国民を啓発しつつ国力を養う実行力が必要なのです。

小さな組織でも、それなりにリーダーとしての職種や地位があります。それがリーダーとしての責任を負う覚悟もないまま年功序列で空席を埋めて昇格しているところもあるでしょう。常日頃から全体を考えて行動できる訓練をせず、自覚もないままのリーダーばかりだと、組織は発展するどころか沈んでしまいます。全体を眺め、未来を見つめつつ日常的には一歩先を歩く、後輩を育成できるそういうリーダーが求められています。

当院における「義肢・装具」 療法について

理事 原田 孝

昭和五十九年から本格的に義肢・装具療法の専門外来が開始され、今日に至っている。医学の治療手段は「薬物・手術・放射線・リハビリテーション」の四本柱から成り立っている。

当院では、リハビリテーションの治療手段の中でも「義肢・装具療法」は歴史的にも重要な位置を占めており、健全な日常生活に障害のある個々の患者さんに対応する装具について担当の医師（原田孝・鶴岡広・牛込伸行）および関係者と共に協力し発展してきた。

長年、共に装具について研究し実施を試みてきた幸和義肢研究所の社長である横張氏の談話を紹介する。

『貴病院の「障害児・医療者」のリハビリテーションに取り組む姿勢には、大変敬服致しております。施設内においてリハビリテーションチームの一員として、義肢・装具療法に携わらせていただくことはまことに名譽なことであり、一方でその責任の重さを痛感しております。』

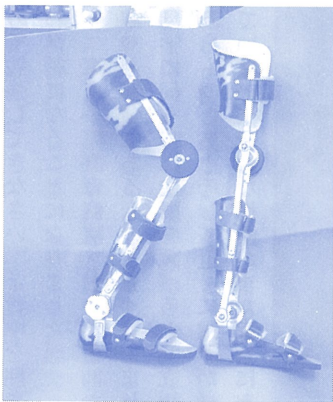
義肢・装具の装着使用の目的は様々ですが、我々の製作する「もの」が利用者様の生活の質を少しでも向上させ、更には社会参加の一助となれば幸いです。

患者様やご家族様にとつての最善の義肢・装具製作に研鑽することが私たちの役目であり、また義務と考えております。

今後とも医師をはじめ、リハビリテーションスタッフのご指導を頂きながら、東京小児療育病院での義肢・装具療法充実のために努めさせていただきます。』



短下肢装具



長下肢装具

『療育実習を通して学んだこと』 東邦大学医学部看護学科

4年 鞠子 有美



私は最初「障害があり、発語がない。目が合うとYES」というコミュニケーションの特徴をスタッフの方から教えていただき、Aさんと出会った。そこで、Aさんの欲求が満たされるような関わりをしようという「体位はこれでよいか」「トイレに行きたいか」など「生懸命「体」のことについてAさんにうかがっていた。

一日目はAさんのYES/NOのサインを理解することができ、私からAさんの好きなアイドルについての話をしてYES/NOでAさんの意見を聞き、お話をしたつもり”になっていた。

しかし2日目の昼に、ある療育員の方が「Aさん、何か言いたいことあるの？私のこと？Aさんのこと？」と質問しているのを聞いた。私はこの時初めてAさんの「気持ち」について、一切聞いていなかったことに気がついた。振り返ると、それまでの話の内容はAさんの考えに沿った事柄のようであり、全て「私が考えたもの」であり、Aさんが考えた内容は一切入っていない。それまで私が聞いていたのは「私が言ったことをAさんが理解したか否か」であっ

た。そのことに気づいてからは、私はAさんに「Aさんは私に言いたいことがある？体のこと？心のこと？」とうかがうようにした。Aさんは私に何か言いたいことがあるとき、じっと私を見る。そのタイミングを計ってこのように質問する。そのため、私はAさんの一挙一動を見逃さないように心がけた。そうすることで、Aさんが求めていることや、Aさんが私に「ありがとう」と言いたかったことなど、さまざまなお話をうかがうことができた。そして私もAさんに対して、心から「ありがとう」と返した。このように、Aさんと関わる中で、私は「Aさんを理解したい。Aさんにも私のことを理解してもらいたい。」と心から思うようになった。もし、私がAさんを「実習中に受け持つ利用者さん」としてだけ見ていたら、おそらく今回のような気持ちは得られなかったと思う。

私は将来看護師として働くことを目標としており、その時には入院されている患者様の生活の質(QOL)の向上を目指したケアが求められる。今回実習をさせていだいた中で、障害を含めた全ての人の個性に対応するためには、知識と技術が必要だということを学んだ。そして何より、本当に相手のことを理解したいと思えば、自然と相手の気持ちを理解することに必死になり、心が通じあった時、相手も私も満足感を得られるということを学んだ。そしてこれらが全て「QOLの向上」につながると思えた。

このような学びの機会を与えてくださった東京小児療育病院のスタッフの皆様や利用者の皆様、そしてAさんに心から感謝している。

肢体不自由児施設

療育研究会へ参加して

東1病棟 看護師 今井 秀美

第二十五回の関東甲信越肢体不自由施設療育研究会に参加しました。肢体不自由施設の学会や研究会は初めてでした。今回は研究発表者のため、緊張と不安の連続でしたが、発表が認められて入賞まで頂くことになり、感激しました。表彰の時はアカデミー賞でも受賞したかのような気分でした。

研究は「重症心身障害児の点滴固定の実際」というテーマで、日頃から病棟で実践していることをまとめて発表しました。当院以外にも関東甲信越にある十施設から二十二題の発表がありました。看護師の研究以外にも作業療法士や歯科衛生士など多くの職種の研究発表も聞くことができ、大変勉強になりました。研究期間中は悩むことが多くて、その度にチームメンバーのアドバイスや、励まして、研究発表ができ、賞まで頂けたことを誇りに思います。そして一番近くで支えてくれた共同研究者の青木主任と大山看護師には感謝の気持ちでいっぱいです。

この研究を機会に利用者さまが安全、安楽に入院生活が送れるように工夫・考案など追求する看護師として日々努力していきたいと思えます。

「念願・初優勝」

鶴風会野球部 石井 昌之

十月八日(金)に都内五つの施設が集まり、重症心身障害児(者)施設職員交流野球大会が行われました。職場の代表として15名が参加出来ました。

野球部が再スタート六年目で念願の初優勝をしました。二試合とも劣勢な展開から諦めずに逆点で勝利しました。選手が結束して出来る「和」の大事さを感じた一日となりました。

祝勝会ではお互いの健闘を称え、夜遅くまで勝利の美酒に酔いしれました。



ホームでクロスプレー



秋の七草を植える

玄關脇の山茶花が病気で枯死したので、他の木にも伝染らないよう伐採しました。根を掘りおこし、新しい土をいれかえる泥まみれの仕事を、ありがたことに事務の石井、山下両氏が引き受けてくれました。そこに金木犀の若木と秋の七草に数えられる女郎花・藤袴・なでしこ・桔梗を植えました。七草には入りませんが竜胆・吾亦紅・秋明菊も加えました。どれも昔から日本の秋の野山に自生していましたが、今は乱獲され絶滅状態の植物です。

万葉集の中では、山上憶良が秋の七草を詠んでいます。

萩の花尾花葛花などしこの花
おみなえしまた藤袴あさがおの花

尾花はススキのこと、あさがおは桔梗のことです。萩は美しい宮城野萩をあちこちの花屋で探しましたが、今年は見つかりませんでした。尾花は葉の美しい矢羽ススキを探しています。葛は蔓に咲くので多分どこを探しても見つからないでしょう。

今年植えた秋草は冬になれば枯れてしまします。来年咲いてくれるでしょうか、今から楽しみです。

編集部



桔梗 (ききょう)



撫子 (なでしこ)

西多摩だより

談話室活動のご紹介(ミニシアター
& 足湯サロンwithカフェ)

「楽」療育主任 佐藤健次郎

楽では、これまでチームごとにも日中活動を展開してきましたが、新法移行に伴い、新たに全員参加型の活動を加える事になりました。

昨年十月から月二回のペースで、茶話会として利用していた談話室を拠点にスタート致しました。誰でも好きな時に気兼ねなく参加できるように、映画上映のミニシアターとゆったりとした時間を過ごしてもらいたいという思いから、足湯サロンをメインの企画に取り入れ、併せて「百円カフェ」も行ってきました。

当初から多くの参加があり、談話室のキャパシティを越えてしまう程の賑わいをみせています

ミニシアターでは、上映内容により自分の人生をリンクさせる方もいらっしやいました。足湯サロンでは、スヌーズレン機器やアロマディフューザーを活用し、3F屋上庭園のハーブを湯に入れるなど、雰囲気作りに努めています。利用者からは「気持ち良かった。また参加したい。」といった感想を頂く事が多く、人気の企画となっています。カフェについてもリ

ピーターが多く、売り上げに貢献していただいております。活動中は、談話室にコーヒーの香りが立ち込め、演出に一役かっています。

一方課題として挙げられるのは、職員主体の運営となっている事です、それも最近では、映画に詳しい利用者や題材を選んだり、自らお勧めを持ち込んでくれたりと、少しづつ協力が得られている状況にあります。

この一年を振り返り、私自身、この活動が個室生活をされている利用者達の「たまり場」的な役割を担っていると思えますし、入所とショート利用者同士の交流の場にもなっているとも思っています。今後も利用者の声を反映し、自主性を活かしながら、ともに運営していける活動を目指していきたいと考えています。

ミニシアターのお知らせ
綾小路 きみまる
10月20日(水) 13:45~ 談話室にて
爆笑!!!
エキサイトライブ
(上映時間 96分)
併せて一券100円で カフェも利用できます。どうぞご利用下さい。
日中活動係

チャリティーバザー終了報告

十月二十四日のバザーは会社・団体等並びに個人様からの多くの御協賛をいただき、例年同様開催することができました。

当日は、天候にも恵まれ多数のお客様にお越しいただき、ご寄付を合わせ二百三十万円を超える収益となりました。

関係者一同感謝をこめてご報告と御礼のご挨拶を申し上げますとともに、今後とも何卒よろしくご支援のほどお願い申し上げます。



販売開始にあわせて多くの方が列をつくりました



「お茶席」コーナーの様子

チャリティーバザー ご寄付者ご芳名

海老原健介・秋本高弘・石井フミコ
大谷友則・大塚いく・大貫 淳
大場幸延・長田栄子・上岡謙夫
神山賢一・斉藤雅彦・佐藤 宣
白石祐子・関根雅弘・高橋京子
竹中玖美子・中里 厚・中村真一郎
橋詰美佐・本明 寛・松山典子
萬田カ子・森田八千子・柳 恵子
山崎豊治・山谷敏男・渡辺高志
(株)日本マルコ・(有)タケナカ
東和防災工業(株)・セントラル病院
NPO法人 わらべ・寺子屋
財団法人 薫民族舞踏文化財団
真如苑 静岡第四連合部
通園・みどり保護者会



社会福祉法人 鶴風会 後援会 だより

オルフェの会に出席して

島田 明子

オルフェの会は、一年中で最も楽しみにしている会です。最初にスライドで、施設紹介をして頂きました。どんなに大変な思いをなさりながらここ迄続けてこられたか、そしてそれを、更なる困難に立ち向いながら続けていくとされているか、ということに強く胸を打たれました。今の殺伐とした時代に、心を暖かく広く強くもち、豊かな愛を子供達やその御家族に注がれている、皆様の尊いお姿を拝見して感動し、心から頭が下がりました。

その後のお食事は、いつも心のこもった美味しいもので、毎年いかにして私どもを喜ばせようかと、あれこれ企画をなさる方の御苦労もしっかり伝わって満足いたしました。

最後の取って置きは、素敵な素敵な舞台！楽しくて楽しくてという年、素晴らしいオペラのアリアに圧倒された年、ハンサムなおにい様、おじ様達が揃って美声であった年があり、そして今年、澄んだ美しい音色のピアノと、

風に乗って空を飛んでいるような気分になった尺八の音色に魅了された年でした。

ピアノの越智章仁さんは、三才でダウン症と診断され、楽譜は読むことが出来ず、会話も不自由という方です。障害のある方が、持てる隠れた才能を見出だされ、それを十分に発揮されることにより、御自身も周りもなんと幸せになることでしょう。御自作の清らかなメロディーを聞かせて頂きながら、胸が熱くなりました。

尺八の岸本寿男先生は、お医者様で尺八の師範免状もお持ちです。独特な吹き方に変えられることによって音の世界が広がり、大きな表現が可能になることには大変驚きました。なにか日々の生活の中にも、創意工夫をすることの大切さを学んだような気がいたします。

この会に参加させて頂いて、楽しくて、美味しく、そして自分の事ばかりではなく、周りにも目を向けて生きてゆきたいと、心から思えた一時でした。有難うございました。

オルフェの会

平成二十二年十二月五日(日)グラントプリンスホテル新高輪・国際館パミール「北辰」においてチャリティコンサート「オルフェの会」が盛大に開催されました。コンサートでは、ダウン症の音楽家越智章仁さんと医師で尺八・都山流師範の岸本寿男先生の出演で、ピアノと尺八の合奏を楽しんでいただきました。



合奏のようす



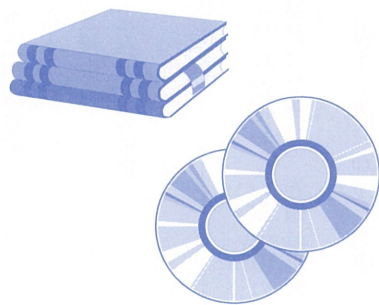
国際ソロプチミスト東京一葵よりご寄付の贈呈

図書・情報閲覧室の設置

これまで鶴風会の施設には利用者のためのこどもおもちゃ室はありましたが、職員のための図書室は整備がされていませんでした。必要な情報はインターネットで個人がそれぞれ得ていますが、専門以外の情報に触れるには、やはり、図書、画集、図鑑、CD、DVDなどから得られることが多いのです。かねてから情報閲覧室を整えたいと思っておりました。二〇一〇年、故桑原章吾先生のご遺族から、図書室整備のためのご寄付をいただき、二宮文乃先生(理事)、故野沢良美先生(元日本女医会副会長)、龍倫之助先生からもご援助があり設置が可能となりました。

さらに後援会の皆様方からのご寄付も投入し、今春には開設できるよう計画を進めております。

「はぐくむ」の次号で開設のお知らせができるよう願っております。



鶴風会後援会へご寄付者ご芳名
平成22年6月～平成22年11月
名(五十音順・敬称略)

- 相沢ミツエ・青木りう子・浅川 恭行
浅見 薫子・蘆立 かつ・足立 嘉子
安部 良治・新井 恒子・安土 達夫
飯国紀一郎・飯国 弥生・飯国洋一郎
五十嵐いづ子・池田喜久子・石川 至
石北 壽子・石田 哲朗・伊丹千壽子
一林 繁・伊藤 正俊・伊藤 元博
稲垣 登稔・井上 康子・猪俣賢一郎
医療法人社団 新興会・岩崎 直弥
白井 潔子・内 孝・内ヶ崎仁子
馬嶋 順子・梅田 嘉明・海野 俊雄
江口 環・延 明子・大塚 トシ
緒方 月・岡本 正子・小川 昭子
沖野 佳子・奥住 一雄・奥山 伸男
小澤 一男・小原 明・小原 該一
小原 桂子・柘原 宏久・鹿島田忠史
勝田三枝子・勝目 宏・勝目 幹郎
加藤 光子・加藤 葉子・金親 正敏
金森 勝士・鎌田 直子・釜菴 登志
河合 典子・川生つや乃・河津 緑
河村 廣子・河村 康明・河村 裕子
菅野 俊一・菅野 壽子・岸本 篤郎
北澤 吉和・木下美代子・木村 裕
木村 鈴代・九津見章子・清原 頼子
久保 修一・栗田 実・黒瀬 嘉幸
黒瀬 恒幸・黒瀬 俊彰・桑原 耕三
小泉 蓉子・小菅 孝明・小竹原安見
小竹原良雄・許斐 貞子・小林 静江
小林純二郎・財星総合病院・佐伯 輝子

- 坂井 香織・先山 隆司・佐藤 中
佐藤 重雄・佐藤 艶子・塩野 則治
志島眞理子・篠原 洋子・柴 忠明
柴 迪子・渋谷 昌良・嶋田 寛子
島津和貴男・獅山富美子・末吉 実子
菅野 訓子・洲鎌久美子・杉 薫
杉原 明子・杉本 元信・杉本 寛子
鈴木 稔・鈴木 秀明・炭山 嘉伸
炭山 朋子・芹澤 滋幹・泉水 昇
相馬 直子・大高 究・高亀永美子
高須 梅代・高月 誠・高槻 義夫
瀧野シズエ・武居 正郎・武田 毅
多田 久人・立原 芳子・田中 富子
谷 絹子・谷口 利江・田部 秀山
塚越 実・月花 亮・月本 一郎
月本 伸子・坪井 康次
東邦大学医学部病院病理学講座
豊田 道子・長岡 貞雄・中島 桂子
中村 豊・中村志津子・並木 温
西沢 憲司・西平 守夫・西宮 常代
野口 隆敏・野沢 明子・野村 直子
萩原 マチ・橋口 玲子・畑 靖子
羽島 順子・橋本 静子・浜田 雅
早川 浩市・林 佳子・早原 千鶴
原田千鶴子・原田裕美子・原山 國秀
東 恵子・東野 寿美・平野 徹
平野 陽子・福田 静子・福永 淳治
藤田ルリ子・藤野 隆子・舟橋満寿子
星 北斗・牧野 アツ・増田 和人
増田登志子・松岡 道子・松原 龍弘
松本 知子・丸山 和子・水谷 礼子
水野久美子・水野 惇子・三宅 三
宮崎 元伸・宮代 英吉・向山 徳子

社会福祉法人鶴風会へご寄付者ご芳名法人団体個人
平成22年6月～平成22年11月
名(五十音順・敬称略)

- 向山 秀樹・向山 和代・武者 芳朗
村川 公一・村川世津子・森 克彦
森 紘子・森川 房子・盛川 洋一
矢島 定子・矢野 春雄・山口 美穂
山田 智政・山村 憲・山本 正子
横田 卓史・吉澤 熙・吉田 宏重
吉田 友英・吉見 梓・柴満 礼子
龍 倫之助・渡辺 享子・渡辺 善則
青柳 利一・阿部美代子・伊藤九一郎
海老原明子・岡松 真幸・加藤 茂
加藤奈津子・上岡 謙夫・神谷 英則
絹笠 哲夫・吉備久美子・櫛田 正明
斎藤八重子・佐藤 朋子・杉田美代子
清宮 祥子・瀬野 国男・田賀 丈夫
高橋 孝彦・竹中 幸宏・中里 宗
中里 宗樹・西原 憲二・野見山捷昭
広野 日善・松尾 賢二・守田 洋
森田 英雄・山崎 恵子・山田耕一郎
吉岡 実・吉川 芳登
(株)エクセル・サービス
ステップ移送サービス
なごみ 訪問看護ステーション
くみちゃんハウス
代表取締役 樽澤久美子
社団法人 日本女医会
社会福祉法人同愛会 日の出福祉園
社会福祉法人みずき福祉会
八王子平和の家

編集後記

新年号にふさわしい富士山の写真
真を職員に公募し、巻頭に掲載し
ました。
「一富士二鷹三茄子」初夢に現
れれば縁起が良い三つの順序とさ
れる昔からの言い習わしです。こ
の三つが縁起良いと言われた理由
は、色々な説があるのですが、現
在の所一番有力なのは徳川家康説
です。徳川家康が幼少期を過ごし
た駿河の国で自慢できるものは
《一富士・二鷹・三茄子》と常日
頃言っていたそうです。そこで、
初夢に徳川家康公の自慢の品を見
ることが出来れば、その年も安泰
だと言うところから、それが吉夢
へと繋がったそうです。
編集委員



病院玄関脇の女郎花(おみなえし)